

今田

修家文書

(河北町田井)

一 紅花仕切

仕切

歩引口銭引御手取現金四拾兩かへ

一、金百三拾七兩貳分 へや大直千花三駄貳拾八袋

右之通御相對を以売買仕、紅花代金不殘相渡シ、此表無出入相濟申候、万一抜ケ袋又者違ひ花等御座候ハ、重而御指引可被下候、為後日仕切状仍如件

宝曆六年子四月廿九日

花山屋

喜右衛門^印

今田弥兵衛殿

榎 新助殿

二 紅花惣仕切目録

惣仕切目録

一、金三百七拾八兩

銀三十四匁四分

一、金壹兩

銀七匁五分

へや印口々仕切

惣^へ高

正月廿三日売付

へや大壹駄

代三拾貳兩

此り二月より五月半迄

^へ三ヶ月半戻シ日相

^へ金三百七拾九兩

銀四拾壹匁九分

右之内

申七月

一、金八兩三歩

一、金四兩壹歩

銀貳兩三分

両所和田六太夫殿と

為替相渡シかし

同所和田理兵衛殿と

為替相渡シかし

ノ

一、金三歩と

壹匁八分

右二口ノ十三兩端銀
八月ノ閏極月迄ノ六ヶ月一ノリ

八月廿一日
一、金貳歩と

六匁七分八リ

（や）大貳駄積合船
石塚長兵衛船濡荷わり合
敦賀へ渡シかし

同廿六日
一、歩判金百兩

大黒屋飛脚差下シ
御取替

一、金九兩貳歩

申九月ノ潤へ入
酉五月半迄

ノ九ヶ月半一ノリ

一、金貳歩

九匁五分

下シ駄賃

一、銀拾壹匁

切ちん

九月七日

一、歩判金三兩

かし

一、銀三分七厘

廿四文

九月廿五日
一、金拾五兩

相渡し取替

一、金壹兩壹歩

申十月ノ潤共
酉五半迄

壹匁五分

ノ八ヶ月半一ノリ

十月十六日

一、歩判金百五拾兩

大黒屋飛脚を
差下シ取替

一、金拾貳兩

申十月十六日より
酉五月半迄潤共
ノ八ヶ月一ノリ

一、拾五匁

切ちんかし

一、金三歩

下シ駄賃

四匁八分

十月廿八日

一、金拾兩

相渡しかし

一、金三歩

申霜月より
酉五月半迄
ノ七ヶ月半一ノリ

十月廿二日
一、三匁壹分

貳百文せにかし

霜月二日

一、金拾三兩

知春坊へ為替ニ
御渡し取替

一、金三歩と

申霜月より酉五月半迄
ノ七ヶ月半一ノリ

十四匁壹分

極月廿日

一、金五兩 かし

十二月廿一日

一、六匁貳分四リ也 四百文

閏十二月二日

一、金壹兩貳歩 かし

同廿六日

一、金壹兩

油屋佐兵衛殿相渡シ
御取替

拾貳匁分四厘

閏大晦日

一、五匁五分

くわし代二口
但し千種屋拂かし

同日

一、金貳兩

取替かし

酉二月廿九日

一、金三歩

かし

三月廿五日

一、歩判金壹兩

かし

四月廿七日

一、銀拾貳匁四分

かし

五月四日

一、貳匁貳分六厘

たばこ代百四十五文

同日

一、七匁七分五厘

五百文せにかし

三日
一、金貳兩 川口弥藏殿へ
御拂ノ節かし

一、六匁 此度差引金
切賃

メ 金三百四拾四兩

百貳十貳匁五分四厘

(追筆)

「右御取替金

是之證文此度戻ス 此金壹兩三歩ト十二匁三分

合金三百四拾五兩三歩

十二匁三分

惣差引残

歩判金三拾三兩壹歩

貳十九匁六分

此錢壹メ九百拾文

但兩替六十三匁

右之通指引残金不残相渡シ無出入相済申候、万一算用違
御座候ハ、重而御相互ニ御差引可申候、為後日仕切目
録仍而如件

明和二酉歲

五月十六日

今田弥兵衛様
同源 蔵様

伊勢屋理右工門^印

一、金三拾貳兩壹步

銀十貳匁八分

同大印紅花壹駄

但右同金三拾三兩替

同断

一、金百九拾壹兩三歩

銀三匁九分

同大印紅花五駄片馬

代 貳拾袋

但十六入廿貳丸

十七入壹丸

外二三袋ノ都合

同断

但右同金取合三拾壹兩替

一、金五拾四兩壹步

同大印紅花壹駄

同大印紅花三丸

ノ壹駄片馬十六袋

代

仕切

二一二 紅花仕切

去冬極月受取

一、金六兩貳歩

但歩引口錢引

御手取現金拾六兩替

へや干
り藝花

代 貳拾六袋

当正月廿三日受取

一、金三拾貳兩

但右同金二兩

同大印紅花壹駄

代

但右同金三拾壹兩替

一、金四拾七兩壹分

銀十三匁八分

同大印紅花壹駄片馬

代但十六入四丸

十七入貳丸

同断

但右同金取合貳拾五兩替

此度

一、金拾四兩

同夕大 十七袋

銀三匁九分

同天 十九袋

代 片馬四袋

銀三百七拾八兩

銀三十四匁四分

右之通御相對ヲ以売買仕代金別紙目錄表ニて不殘相渡シ
無出入相濟申候、万一算用違或者抜袋等有之候ハ、重
而御相互ニ差引可申候、為後日仕切状仍而如件

明和二酉歲

伊勢屋

五月十六日

理右衛門印

今田弥兵衛殿

同 源 藏殿

三 (京都紅花問屋に付) 一札

江戸表御勘定所小野日向守様於御役所被仰渡候ニ付
差上申一札之事

羽州紅花荷主共儀、京都紅花問屋取計ヒ不宜故、捌方差
支候趣、但州播州通船請負人武州亀有村清右衛門へ相頼
候旨、先達而一色安芸守様江清右衛門奉願候ニ付、右荷
主並清右衛門、其外問屋紅屋共一同ニ御吟味御座候処、
先年之紅屋共茂、紅花出生之国々江被越、勝手次第直売
買仕候処、問屋相極候以來、問屋共不束成捌方ニ付、清
右衛門於京都増問屋株取立紅花荷物引請正道ニ取計ヒ候
ハ、外問屋共も自然ニ簾直巻ニ可相成趣、品々申上問屋
共儀者三拾ケ年余己前ハ右之通直売買相成候得共、享保
二十卯年問屋拾四軒ニ極候己來、自荷物混雜も不致盜荷
等も無之取締宜敷、尤是迄不直成取計ヒ仕候儀無之由申
上之、紅屋共儀者以前之通直売買いたし候様相成候得者
勝手被成候由申上之候得共、一体申争ヒ無證拠之儀者御

取用難成、問屋共儀紅屋江売渡候分計口錢取立候得共、
 多分問屋共方江買取置候故、右之分ハ口錢無之候間、前々
 方仕来ニ而仕切書付ニ口錢之眞数相認不申、藏敷之儀者
 口錢ニ込取立候故、是又不認由申上候得共、左候ハ、右
 之訳委細認分ケ仕切書付も可渡処、無其儀一体不取締い
 たし方、其上問屋極有之候而者、売捌方手拔差支ニ相成
 候段ハ歴然ニ付、清右衛門江増問屋株被仰付候様ニ支度
 と申儀弁、直売買ニ相成候共、問屋株ハ御立被置被下候
 様ニ支度旨、今般御吟味之上問屋共之内ニ而、奉願候儀
 共難成間、己来問屋名目相止メ、三十箇年余以前之通、
 銘々紅花出生之国々江罷越直々売買仕、勿論荷主共儀も
 外ニ紅花作り候ものより荷物相渡由申候分ハ、引受之
 勝手次第商ひ仕、都而荷主帳面等巨細ニ取極、紛敷儀無
 之様ニ仕、荷主共儀も我儘之取計ひ仕間敷旨、被仰渡一
 同承知奉畏候、若相背候ハ、御科可被仰付候、仍御請證
 文差上申所如件

柴村藤三郎御代官所

羽州村山郡谷地

明和二年七月四日

荒町村百姓

紅花荷主五兵衛

前小路村

同 金右工門

大町村

同 五郎兵衛

前小路村

同 傳藏

代藤藏

伊奈半左工門御代官所

武州葛飾郡龜有村

百姓 清右工門

但州播州通船請負人

京都紅花問屋行事

小川通蛸薬師下ル丁

紙屋 勘兵衛

東漸院三条下ル町

若山屋勘右工門

同所紅花問屋

四条通烏丸東へ入町

伊勢屋理右衛門

烏丸通蛸薬師下ル丁

若山屋喜衛門

室町通蛸薬師下ル丁

池田屋五兵衛

綾小路東漸院東へ入丁

松位屋徳兵衛

蛸薬師小川東へ入町

山形屋八郎右工門

新町通三条下ル町

最上 市左工門

烏丸通綾小路下ル丁

若山屋又兵衛

六角通室町西入町

若山屋孫兵衛

烏丸通蛸薬師下ル丁

東漸院通六角下ル丁

紙屋 徳右工門

東洞院通六町下ル町

近江屋九郎兵衛

烏丸通二条下ル丁

井筒屋善助

代 十三郎

室町通四条上ル町

伊勢屋源助

同所紅屋行事

榎木町通室町東へ入町

綿屋徳兵衛

衣槌通下口口上ル町

松葉屋徳兵衛

錦小路油小路東へ入町

丸屋徳兵衛

油小路通高辻上ル町

二見屋長兵衛

同所紅屋百四拾八軒惣代

三月廿三日下り之紅花沓駄之送金取かへ

佐藤屋作兵衛

一、同沓両沓歩

玉屋 九兵衛

六月廿六日下り之紅花沓駄之送金かし

代 八兵衛

一、同沓兩者

松葉屋新助

右同断 下り沓駄片馬之送金かし

越後屋金右工門

一、同沓両

七月廿八日へや印沓駄騎片馬送金かし

一、同式歩拾式匁五分

七月八日下り沓駄之送金かし

一、同沓両

八月九日濡紅花造り直し六固(箇)之送金かし

一、同沓歩九匁九分七厘

右者上山御役所御荷物大坂より下り浜上質・蔵入ち

ん、当所より其御地迄之運賃掛物御取立被下候様ニ

申遣候

惣々金六匁九匁九分七厘

四 覚 (へや印紅花運賃指引勘定)

(端裏書)
「へや」

覚

一、銀拾式匁五分

閏十二月十一日かし金請取残ニ而かし

但し治郎七下三拾両金之残

一、金三歩八

右之通別紙金指引相立申所、依而如件

本間幸三郎印

西十一月十一日

今田弥兵衛殿

金八拾五兩壹分と

十三匁三分

右之通仕切目録相認相渡シ、此方帳面ニ請取印形有之候

明和四年亥二月

伊勢屋理右衛門

印判

五 紅花惣仕切目録

(端裏書)

「今田仕切目録」

惣仕切目録

一、金三百五拾兩三步と

へや印紅花口々

銀五十四匁三分

代惣ノ高別紙仕切表也

右之内

一、金貳百六拾四兩貳歩と

銀百四匁五分五厘

差引残

六 紅花仕切

(端裏書)

「今田仕切写」

仕切

但シ御手取銀金三拾八兩かへ

一、金四拾八兩

へや大印紅花

五匁分

壹駄十七袋

但し 十六入四丸
十七入壹丸

此利金貳歩 極月一ヶ月の利

一、金四拾兩

但し右金にて

同大印同壹駄

代

但し右同断にて四拾兩かへ

一、金八拾壹兩壹分

同大印同貳駄

貳袋

一、金四拾五兩壹歩

但し右同金四拾壹兩かへ

同本紅印同

十四匁分

壹駄七袋

代

此り金壹歩

同壹ヶ月

十貳匁分

戻しり相

一、金六兩貳分

但し右同金にて廿貳兩かへ

同大藝花拾七表

同大 貳袋

拾九袋

一、金拾貳兩貳歩

但し同金二而三拾五兩かへ

同大印 同廿貳袋

四匁分

又㊦印 同 壹袋

銀貳拾三袋

銀金三百五拾兩三歩と

銀五拾四匁三分

右之通任切認相渡シ此方帳面ニ請取印形有之候

一、金百拾六兩貳歩

同大印同貳駄

十三匁八分

片馬六袋

但し十六入四丸
十七入六丸

明和四年

伊勢屋

亥二月

理右衛門 印

今田弥兵衛殿

同 宗七殿

今田弥兵衛殿
中野 宗七殿

七 紅花惣仕切目録

八 紅花惣仕切目録

惣仕切目録

一、金三百五拾兩三分と

へや印紅花口々

銀五拾四匁三分 代惣へ高別紙仕切表也

右之内

一、金貳百六拾四兩貳分と

銀百四匁五分五厘

差引残

金八拾五兩壹分

十三匁三分

右之通仕切目録相認相渡此方帳面ニ請取印形有之候

明和四年亥二月

伊勢屋理右衛門 印判

(端裏書)

「目録写」

惣仕切目録

一、金四兩三步と

十五匁七分

一、金三步と

五匁三分

一、金四拾九兩貳歩

廿匁七分

一、金八拾五兩壹歩

十三文七分

小野七十郎殿差引残り高

へ

鈴木長十郎殿仕切表残り

高へ

大黒屋又兵衛殿仕切表残り

り高へ

今田弥兵衛殿仕切表残り

高へ

一、金拾貳兩貳歩

預り金

廿六匁四分

五口

銀百五拾貳兩貳歩と

銀八拾老匁四分

右之内

一、金貳兩と

三匁四分

浦城喜兵衛殿紅花代指引目
録表不足引

(貼紙)

仕切老通 浦城之分

目録老通 天童へ遺ス

一、金拾兩

紅花代之内へ相渡ス

一、金五拾兩

右同断 相渡ス

一、金九拾三兩貳歩

宗七殿へ取替渡金銀高

十二匁八分

但し委細ハ別ニ書付有

銀百五拾五兩貳歩と

十六匁貳分

惣指引残而

金老兩三步と

已上かし

拾四匁三分

右之通殘金請取無出入相濟申候

明和四年亥六月

伊勢屋

理右衛門 印

今田弥兵衛殿

中野 宗七殿

九 (紅花売代金に付) 返答書

乍恐書付を以御答申上候

一、天童村伊勢屋善太郎様番頭伊兵衛殿御支配方喜兵衛殿迄貳拾ケ年諸色之大豆、小豆、紅花、たばこ一切之買物年々村方他村迄致買物来候、然ル処去々酉年田井村弥兵衛殿と申御人紅花拾六駄京都へ被為登拙者御頼

二候得共、なれぬ商ニ御座候間延引仕候得共、是非罷登候様御頼被成候間罷登、首尾好売買仕年中ニ罷下申候、依之去七月右伊勢ヤ方に而、紅花拾駄余京都へ被為登、夫私御頼被成候得共、多分之金高成商ニ御座候間、遲滞仕候処其元去年初而登り利運被致商茂吉凶御座候間、又々当年も罷登呉候様御頼被成、然る処田井村弥兵衛殿方も御頼被成候間罷登候之処、荷高三拾駄計ニ相成、去八月下旬ニ上京仕候処、殊之外不景氣段々引下ケ何共迷惑仕、其後九月段々荷物質入仕、金子借用田井村弥兵衛殿へも天童伊勢やへも指下シ申候、然る所伊兵工殿京都へ御登り相談之上少々荷物相払売代金伊兵工殿へ相渡指下申候、残荷物御相談之上見合置申候、伊兵衛殿罷下其後勢州旦那様も相払候様二度々御状被遣候間相払売代金ニ而九月之借用金指引仕、残金勢州旦那様へ差下申候、然る所其後天童伊勢屋も又ハ紅花貳駄余当二月迄ニ京着仕候、此荷物者私御頼之御状被遣何共不景氣之節ニ御座候間、見合置候処、勢州旦那様も御状被遣候処、当年之新花様

子最上ハ殊之外不出来之由申来候間、夫共五拾兩位ニ御座候ハ、相払候様被仰遣候、其上何年ニも無之大雪紅花仕付後レ候由申来り候へハ心強罷成、此上直段六拾兩余迄ニ不相成内ハ新花京着仕候迄も逗留仕心ニ而国元旦那衆中へ拙者思入之書状差下申候処、天童伊勢屋喜兵衛殿方も私方へ五月中間出シ之書状六月中旬ニ京着仕拜見仕候得者、新花殊之外上出来見事ニ御座候間、四拾兩位ニ相成候ハ、相拂早々売代金持参仕急ニ罷下り可申との書状被遣候間、拙者然レハ右之趣之御状世間ニも参答と存急ニ附花おたし段々吟味仕候処、四拾三兩ニ直こひ有之余方ニも新花上出来之様子参答と存、然る時ニハ人氣よわく罷成直段引下ケ可申哉と存候、右直段ニ而段々弥兵衛殿荷物とも拾駄余売代金請取、漸六月十八日迄ニ差引勘定仕候得ハ飛脚も無之拙者直ニ金子持参仕、急ニ六月十九日ニ京都出立少々荷物有之、右荷物之内ニ金子仕切目録書状共入置勢州最上へ下御人有之由勢州旦那様も申参候間、勢州へ心掛罷下右荷物人足ニ為持相間ニハ自分持ニ致、

十九日之晩草津泊、明廿日二大山与申町ニ而人足色々
と申賃錢四拾五文ニ而右荷物為持罷通候処、山坂ニ而
日暮ニ罷成候得ハくせもの共人足追懸り荷を押へ私方
へ追懸り拙者も驚、くせものとも大勢拙者相叶不申夫
方山中へ逃ケくく利のめくり屋まくり方角もなく沢入
ニ逃下り、命からがらニ而段々そこかしこへめぐり漸
坂の下と申町ニ九ツ過ニ本生もうせ候様ニ而そこかし
こ見せうちおこし候得共一切返事無之所、漸返事仕候
宿有之候処、宿かり候得ば、忝人宿相成不申連、二度
返事無御座候処、力なくうろうろ立のき段々心細く罷
成国元へも申訳なくと存、是方何方へも出奔仕心ニ罷
成段々あちらこちらニ廻り桑名ニ而二夜泊、京都宿へ
段々右之様子書状ニ認、最上江之書状封込外ニ京都之
宿方最上へ申添状御願申候様ニ書状認致候処、幸京都
へ登御人ニ出会相頼右書状相届申候、夫今段々心色々
ニ相成、国へ下る氣も無之そこかしこに陳取、うろう
ろと歩き日数相懸、夫方段々思案仕国へ下り不申候而
ハ、多分之金高二御座候へハ、荷主様方私金高たくわ

ひ仕欠落杯と御推量も可有之と存、夫方国へ下る心ニ
罷成、段々罷下候処、当七日二天童伊勢や二下着仕、
段々右之様子申立候処ニ番頭衆御承引無之迷惑仕候、
右申上候通大金うばひ取候故如何様と御吟味被仰付候
得共、多分之金高二御座候得ハ何分申訳無御座候、此
上如何様ニ被仰付候共、無拋事と申上候而二夜明候処、
羽入村喜之助と申御人体立預り、我家ニ同道申候様、
此上右喜之助宜様相談仕将明申候間、内ニ居り候様申
付候間、何分多分之金高御座候得ハ拙者申分ケ可仕様
無御座候間、此末宜様相済呉候様喜之助殿御頼置候様
御指図被仰付候ニ付、其後喜之助殿御了簡ニ及不申故、
無拋御役所様へ御苦勞ニ被成、何共迷惑至極仕候、此
上御尋之儀御座候ハ、口上ニ而可申上候、以上

亥八月

荷口村答主

長瀬御役所

惣七印

一〇一一 (惣七紅花売付け一件に付) 願上書

右弥兵衛願之通被為仰付被下度奉存候、以上

組頭儀兵衛

乍恐書付を以奉願上候事

大庄屋

牧野藤左衛門

子八月

御役所

宮村孫左工門様御代官所荷口村惣七京都二而紅花売代金不相渡候二付、去八月御訴訟申上候所、則長濤御役所江御文通被成下候二付、右惣七御吟味之上道中二而金子被奪取候儀雖申之、不分明二被思召村預二被仰渡候趣、乍併御私領を掛り合候出入永御取扱難被成由二而御手離、因茲差急出府御訴訟申上度奉存候へ共、病身者故遠路出府仕兼候、乍去右金子打捨置候へ而八身上之痛と罷成候間、此度弟勝平出府為致御判頂載仕度奉存候間、願之通被仰付被下度奉願候、尤勝平老人差遣候義、氣遣敷奉存候間、私四男青木楠五郎様御代官所羽入村傳兵衛召仕吉太郎相添当十二日出府為仕度奉存候、右二付乍恐御添翰被成下度奉願上候、以上

一〇一二 (惣七紅花売付け一件に付) 訴訟書

乍恐以書付御訴訟奉申上候事

宮村孫左工門様御代官所羽州村山郡

一、金百拾四両 荷口村紅花代金引負人相手

惣七

右惣七去戊年織田八百八様御領分天童田町善太郎を相頼紅花売支配京都へ為差登候付、惣七罷越相頼候へ、去年通紅花売支配仕度段申之候故、任其意候処戊年之儀者、

田井村願人

明和五年子八月

庄屋弥兵衛(印)

京都二而紅花至而下直二付越年致罷有候而、右紅花段々

相拂去亥八月七日天童善太郎方へ帰国仕、翌十日荷口村

在宅仕候付、右紅花代於京都請取候殘金書面之通相渡候

様ニ催促仕候得者、道中勢州坂ノ下山間ニ而、夜盗出合

金子被奪取候旨申之相渡不申候、尤金貳拾兩三拾兩之事

候ハ、才覚を以も相済可申候得共、大金之儀御座候処、

致方無之段挨拶仕候、御治国泰平之世之中ニ往還筋ニ左

様之怪敷者有之間敷奉存、則荷口村名主傳九郎並五人組

へも相断、其上地頭松平山城守役所へ訴訟仕、宮村孫左

工門様御役所へ御通達被成候処、右惣七御吟味之上於道

中被奪取候儀不分明被思召、親類五人組ニ村預ケ被仰付

被差置由、山城守役所へ被仰遣候、右ニ付差急出府仕御

訴詔申上度奉存候得共、病身者ニ而遠路出府仕兼延引仕

候、尤其儘差置候而ハ、番頭ハ勿論身上之傷与相成、百

姓相統諸上納差支甚迷惑仕候間、御慈悲之御救ヲ以、右

惣七道中宿々江難題申懸ケ謀計を以掠取置候金子私方へ

可相済分無相違相渡候様被仰付被下置度、乍恐幾重ニも

御訴訟奉申上候、右願之通被為仰付候ハ、難有奉存候、

已上

松平山城守領分羽州村山郡

明和五^戊年八月

田井村訴訟人弥兵衛所

勝平

御奉行様

儀兵衛

一〇一三(惣七紅花売付け一件に付)願上書

乍恐以書付奉願上候御事

一、宮村孫左衛門様御代官所荷口村惣七儀、去ル酉年伊

勢參宮仕度旨申之ニ付、左候ハ、紅花売支配致吳候様

ニ相頼上京為致申候、然ル所去夏中紅花相調候ニ付、

京都紅花宿方前金等借用仕候間、右引当として代物紅

花荷物送為登申候、則右宿伊勢屋理右工門、若山屋喜

右衛門方江茂差付荷物ニ可仕旨申遣候、然ル所右惣七

罷越申談候ハ、天童大黒屋又兵衛与仲間ニ而紅花仕入

一、金百拾壹兩余

紅花代金

有之、猫又干花ニ而も壹貳駄も相調候故、上京仕心懸

外二三兩余京都日相可請取金子也

之所二天童善太郎店之荷物も売支配、外ニも三駄計も

百拾四兩余

支配御座候間、是非上京仕候、因是其元仕入紅花も売

内訳

支配致度旨、惣七申之ニ付、左候ハ、差付荷物之外任

六拾貳兩貳分余 京都若山屋喜右工門方^レ請取候由

其意候、然ル所去冬中紅花下直候由相聞候得共、惣七

此金子之義差付紅花荷物代金ニ御座候間、惣七請

何与相心得候哉、多分之損金ニ而売附申来候故、正月

取聞鋪金子請取之候、仍之右喜右工門方江も断相

四日出之書面ニ餘り下直ニ御座候間、理右衛門、喜右

立置申候

衛門兩宿江相任セ、書状着次第第二帰国可仕旨申遣候処、

四拾五兩

京都近江屋九郎兵衛方ニ而商金

惣七^レ之返書御覽ニ奉懸上候、然ル所利右衛門方江藏

右惣七義干紅花貳駄相調自分商ひ仕候損金御座候

入紅花荷物当二月中ニ不残売附申候由、宿利右衛門^レ

ハ、相弁可申候、尤当二月中私方江宿理右工門方

申来候、因是指引殘金差下シ可申候処、左様義も無之

^レ可相屈金子指留相調候様奉存候、則惣七方^レ之

六月中迄永逗留仕、剩喜右衛門方江差付荷物代金茂請

書面御覽ニ奉懸上候、然ル上者自分商事ニ御座候

取致帰宅罷有候由承之候間、右代金不残相渡候様ニ

間何様之儀出来候共相償無相違日相金共ニ可相濟

度々催促仕候得共、彼是申掠相濟不申候間、名主傳九

処難渋致而迷惑仕候

郎方江茂度々相断、其上及通達候得共、辻も将明不申

外六兩貳分惣七手元有金

候故、不得止事御訴訟奉申上候、右惣七^レ可請取金高

内四兩貳分ハ天童善太郎店二道中金残預置候由申

左ニ

来候

右之通構非分不將仕甚迷惑仕候、因是御慈悲之以御賢慮
惣七方右金子員數無相違相渡候様二乍恐長滯御役所様
江被為仰遣被下置度、幾重二モ奉願上候、猶又御尋之義
茂御座候ハ、口上二而可奉申上候、以上

亥八月

田井村願人

上山

弥兵衛[㊦]

御役所様

前書之通願出候二付、奥印仕差上候以上

溝延村大庄屋

牧野藤左衛門[㊦]

内四拾五兩

京都若山屋喜右衛門方江渡金

但し当亥三月廿九日ニ相渡申候由申越候

残四拾兩壹分銀拾三匁三分惣七請取自由仕候

外二貳兩ハ、右金自由仕候二付、当亥二月ハ六月

迄日相金也

一、金七兩壹分銀拾壹匁七分 去戌九月喜右衛門方ハ

注文金不足之所惣七請取

一、金三分銀七匁五分 去戌九月ハ当六月迄日相金也

但し喜右衛門方ハ相渡候由申遣候得共、請取候

義不申遣候而、自由仕候故日相勘定仕候

高壹兩壹分貳朱之内

一、金三分銀壹匁五分 紅花添代

一、五拾壹兩貳分銀四匁

一、金六拾貳兩貳分銀五匁五分 若山屋喜右衛門方ハ渡

金

一一 覚 (紅花売口錢等勘定申立)

覚

一、金八拾五兩壹分銀拾三匁三分 京都宿理右衛門方ハ

但し当亥二月仕切表

惣仕切殘金

候

此金本書ニ申立候通、差付送り紅花代金ニ御取候処、
惣七請取候段、則喜右衛門方江も不得其意趣及通達

金百拾四兩銀九匁五分

内

金壹兩

参宮人谷地甚兵衛与申者ニ取替之由未相

濟不申候

惣金請取候節勘定ニ相立可申候

金四兩

天童善太郎方江道中金残請取置候由、本

書ニ書上仕候、尤惣金請取候節、善太郎

方ニ而成共、私方ニ而成共勘定相立可申

候

外売口錢駄ニ金三分宛送り、差付之外七駄三丸分勘定

ニ相立可申候

右之通本書ニ申立候金高如是ニ御座候、以上

亥九月

田井村

弥兵衛

長瀨

御役所様

一二 紅花仕切

仕切

御手取現金三拾八兩貳步かへ

子正月五日

一、金七拾九兩壹步と

へや大印紅花貳駄

銀九匁八分五厘

代 四袋

一、金三拾貳兩

へや大印紅花壹駄

同金

代

同金三拾三兩かへ

一、金三兩貳步と

へや大印紅花七袋

銀六匁九分

代

同金拾三兩かへ

一、金壹兩三步と

へや大印花九袋

銀四匁九分

代

同金三拾三兩かへ

一、金拾六兩貳步

へや庄印 鶉渡河

代 紅花片馬

金百三拾三兩と銀貳拾壹匁六分五厘

右之内

亥十二月廿八日

一、銀三匁壹分

鶉渡貳丸大津駄ちん

亥十二月廿八日

一、銀九匁四分五厘

へや印大津駄ちん

同十二月廿八日

一、金百兩

山形山口三郎右エ門殿へ

為替取組相渡ス

一、金三歩

下し金差引貳拾兩

過上分四ヶ月不足

金百兩三歩と銀拾貳匁五分五厘

差引残り金三拾貳兩壹歩ト銀九匁壹分

内

一、銀拾四匁八分 此度下し金だちん引

一、銀四匁貳分 歩判切ちん

銀拾九匁此金壹歩ト三匁

差引残り歩判金三拾貳兩ト丁錢三百七拾八文

右之通相對を以売附代金不殘福鳴飛脚江差下し、此表無

出入相濟申候、万一拔袋或者算用違有之候ハ、重而差

引可申候、為後日仍而如件

伊勢屋源助 ㊦

明和五年子五月六日

今田弥兵衛殿

一三 (紅花代金横取に付) 願上書

乍恐書付を以奉願上候

松平山城守領分

羽州村山郡田井村

名主弥兵衛煩二付代

訴訟人 勝 平

紅花代金横取致
出入
渡し方差滞候

宮村孫左衛門様御代官所

同州同郡荷口村

百姓

相手 惣 七

乍恐訴訟人弥兵衛代勝平奉申上候、右惣七儀去ル戊七月
中私方江罷越相願候者、同郡天童田町善太郎方江紅花売
支配ニ付、京都江罷越候間、私方紅花之儀も同様ニ差遣
吳候得者、右惣七勝手ニも相成候趣相願候ニ付、任其意
私所持之紅花七駄片馬、京都売仕切金、無滞私方江相渡
可申旨申談、右紅花差遣上京為致候処、去ル戌年之儀、
紅花甚下直ニ付、越年致居去亥年ニ罷成段々売拂、同八
月七日右善太郎方へ帰着仕、翌十日荷口村江在宅仕候ニ
付、紅花代京都より追々差越候殘、金百九兩壹分銀拾匁
四分五厘有之候ニ付、相渡候様催促仕候得者、道中伊勢
坂下山間ニ而盜賊ニ行合、金子被奪取、尤式拾兩三拾兩
之儀ニ御座候ハ、才覚ヲも致相渡可申候得共、大金之

儀故致方無之段挨拶仕、相渡不申候ニ付、右村名主傳九
郎並五人組江、濟方申付吳候様相願候得共將明不申、種々
不分明成儀ヲ申之甚疑鋪奉存、右体之儀等閑致置候而者、
年々家業之差障ニ相成、難儀至極仕候ニ付、無是非今般
御訴訟奉申上候、何分御慈悲ヲ以、右惣七被召出御吟味
之上、書面之金子無滞相渡候様被仰付被下置候ハ、難
有仕合奉存候、已上

松平山城守領分

羽州村山郡田井村

明和五年子八月

名主弥兵衛煩ニ付代

御奉行所様

訴訟人 勝 平

(裏書)

「如斯訴状差上候間、

致返答書来ル十月

十三日評定所江罷出

可対決、若於不參者

可為曲事者也

子八月晦日

御用方無加印

加役無加印

備前

佐渡

美濃 御用方無加印 大渦

伊賀 日向 豊前

大煩 彈正 一

一四 (紅花代金横取に付) 一札之事

一札之事

来ル十月十三日御評定所江可罷出旨、三御奉行所様御裏御判物並、土岐美濃様御役人中様も、御添書老通頂戴奉拝見、於長瀬髓請取申候、尤墨付よこれ等決而無御座候、為後日仍而如件

子

荷口村請取人

九月十五日

惣 七

五人組 清三郎

同 五郎兵衛

田井村

勝平殿

同 教善

同 四郎兵衛

同 伝四郎

百姓代 勘兵衛

組頭 嘉兵衛

名主 伝九郎

一五 紅花代金指引帳 (横帳)

(表紙)

「明和五子年十月

紅花代金指引帳

松平山城守領分

羽州村山郡田井村

勝平

一、紅花八駄片馬 京都伊勢屋利右衛門方へ遣

一、拾九袋 但し壹駄二付十式両かへ

代八拾壹兩壹分

内

代六兩貳分

一、壹駄 七袋 但し壹駄二付四拾壹兩かへ

貳匁

代四拾五兩壹分

代金ノ三百五拾兩

拾四匁八分

四拾壹匁四分

一、壹駄 十七袋 但し壹駄二付三十八兩かへ

外二

代四拾八兩

一、貳分也

五匁九分

戊極月壹ヶ月利金

一、貳拾三袋 但し壹駄二付三十五兩かへ

一、壹分

代拾貳兩貳分

拾貳匁九分 戊極月壹ヶ月利金

四匁九分

惣

一、貳駄片馬六袋 但し壹駄二付三十五兩かへ

ノ金三百五十兩三分

代百拾六兩貳分

五拾四匁三分

拾三匁八分

内

一、壹駄 但し壹駄二付四拾兩かへ

一、金百兩

代四拾兩

一、金五十兩

一、貳駄貳袋 但し壹駄二付四十兩かへ

一、金百兩

同 十月六日 民受取

戊ノ五月十六日民受取

同 七月十七日民受取

一、金拾三兩壹分 利金引

一、金壹兩壹分 切實、下し金駄實

五拾壹匁六分

一、五拾貳匁九分五厘 紅花駄實不足かり引

一、金四拾五兩 若山屋喜右衛門方へ渡候分引

小以金三百拾壹兩

拾四匁六分六リ

差引

金四拾兩壹分

九匁七分五厘

惣七方へ受取申候分

一、紅花六駄片馬六袋 京都若山屋喜右衛門方へ遣し分

内

一、三駄貳拾袋 但し壹駄ニ付四十五兩かへ

代百四拾九兩

三匁九分三リ

一、貳駄貳袋 但し壹駄ニ付四拾五兩かへ

代九拾壹兩壹分

九匁八分四リ

一、壹駄拾六袋 但し壹駄ニ付四拾貳兩かへ

代五拾貳兩貳分也

代金

貳百九拾貳兩三分

拾三匁七分七リ

外ニ

一、金七兩壹分 戌夏分紅花代残り

十匁匁四分

一、金四拾五兩 いせや利右衛門方へ受取候分

一、金壹兩 右金ニヶ月半利金

七匁八分七リ

一、拾四匁九分 紅花駄實残り

一、貳分三リ 同断

惣

金三百四拾六兩三分

三匁四分七リ

内

一、金百拾兩 戊六月七日民受取

一、金壹分 右金利金引

七匁三分式リ

一、金貳分 右金下し駄賃引

三匁壹分七リ

一、拾六匁五分 部判切賃引

一、四匁九分五リ 同断引

一、金百五拾兩 戊九月七日民受取

一、金拾四兩壹分 右金九ヶ月半利金引

一、金三分 右金下し駄賃引

せに百六十文 但し貳匁貳分

一、貳拾四匁 部判切立引

一、四匁三分五リ 同断引

小以金貳百七拾六兩三分

貳匁四分七リ

指引

金七拾兩ト壹匁

二口

惣七方へ受取申候分

金百拾兩壹分

拾匁四分五リ

内

金壹兩 谷地村甚兵衛

惣七方へ受取候分引之

指引

金百九兩壹分

拾匁四分五リ

惣七方へ受取申候分

右之通勘定仕立差上申候所如件

松平山城守領分

羽州村山郡田井村

弥兵衛代 勝

平

子ノ十月

一六 (惣七紅花代金横取に付) 内濟証文

勘兵衛 殿

伝九郎 殿

内濟為取替証文之事

一、我等組下惣七与申者、貴殿に紅花金百九兩壹分ト銀拾匁四分五厘之荷物御渡し被成候処、右之荷物不残売払候得共、代金滞一切相濟不申候ニ付、当子ノ十月横取金之様ニ御願被成、同十三日可被出御尊判頂戴、奉驚双方之取分御吟味之上、右之惣七入牢被仰付候処、兩宿村役人被あつかへ仕、御用捨被下候上ハ、家材代与して金三兩、惣七身替与して俣式人差出、金拾兩ニ質物奉上ニ差置申処実正ニ御座候、右ニ付定之通内濟仕候上ハ、御願かましき義仕間敷候、仍而為取替証文如件

明和五年子十一月

田井村 勝平

江戸宿 五兵衛

同 清八

五郎兵衛殿

一七 (惣七紅花代金横取に付) 内濟証文

内濟為取替証文之事

一、我等組下惣七与申者方江、貴殿に紅花金百九兩壹分ト銀拾匁四分五厘分之荷物、御渡し被成候処、右之荷物不残売払候得共代金滞一切相濟不申候ニ付、当子ノ十月横取金之様ニ御願被成、同月十三日可罷出御尊判頂戴奉驚、双方被召出御吟味之上、右之惣七入牢被仰付候処、我等共貴殿江達而御詫仕候得者、御得心之上右之金百九兩壹分ト銀拾匁四分五厘之所、只今金拾三兩御請取被下、残金九拾六兩壹分ト銀拾匁四分五厘之儀者、右之惣七身上取続相応ニ渡世仕被有候ハ、追々ニ御取立被下候約速ニ而、貴殿之御了簡ヲ以内濟被下

忝奉存候、然ル上者、右惣七出牢致候以後、何様之儀申候共、我等共仲人ニ相立候上者、少も右惣七ニ違背為致申間敷候、尤御訴訟被成候一件之儀ニ付、何事ニ不寄、諸親類村役人迄貴殿方江意根ケ間敷儀、一向為申間敷候、若左様成ル儀茂有之候ハ、此証文ヲ以我等共方江何様ニも御懸リ可被成候、少も違背申間敷候、為後日內濟殘金借用為取替証文仍而如件

明和五年子十一月 荷口村惣七組合

五郎兵衛 ㊦

同村年寄 勤兵衛 ㊦

同村名主 伝九郎 ㊦

弥兵衛殿

乍恐以書付御訴訟奉申上候御事

宮村孫左衛門様御代官所荷口村惣七江、京都ニ而紅花宿理右衛門喜右衛門両家方相渡候紅花壳代金、帰国後再三催促仕候得共、相渡不申候ニ付、無拠去亥八月中御訴訟

奉申上候処、則長瀬御役所様江右之趣、被為仰出候ニ付、御吟味之上、道中ニ而被奪取候由、惣七障申之不分明故、村預ニ被仰付被差置候段、併御私領懸合之出入多月御取扱難被成旨、被仰聞奉承知候、乍去惣七方何レ共返答茂不承、出府仕候得而茂、右之趣御尋茂御座候ハ、早速可及当惑候、且右壳代金全被奪取候而も、私方江無滞可相渡趣意ハ、京都宿理右衛門方、三度飛脚便ニ可相渡金子八拾五兩差留、自分商仕損失之上ハ、道中ニ而者勿論御同様之義御座候共、相弁可相濟処、自分商紅花壳下損金多、猶又国元仕入損失可相弁無手段、於道中ニ被奪取候杯与、無跡形も謀計を以、多分之損金を保たもひ京都方持參之金子掠置不相渡段、醜鋪巧之程、以御賢惠被為聞召分、被下置度奉存候、則惣七京都方去亥五月十五日出し書状、並宿理右衛門方惣七切目録写書、去亥三月六日出之書状共ニ差上候間、御熟読被下候得者、全惣七理右衛門方私方江可相渡金子自由仕、自分商ニ而損失仕候義相分り候哉ニ奉存候、固是以謀計身上可操巧ニ而、不相渡金子全無相違相渡候様、乍恐幾重ニ茂奉願候、尤御手を

被離候処、御訴訟奉申上候御儀、恐多奉存候得共、取掠取置候惣七、何レ共返答茂不仕候故、出府之御添翰奉願上候も、如何敷奉存候間、今一応御文通被成下度奉願候、勿論此上惣七不得心ニテ相濟不申候者、何レ共返答承度、又々願書指上申候、右惣七可請取金子、都合百四兩未熟ニ相成候得而者、御領分持高諸上納ハ勿論、御公料所々越石諸納共ニ甚難儀仕候間、右ノ金子請取御公料御領分御田地、相統仕度奉存候、御慈悲以御賢恵、右之趣被為聞召分被下置候様ニ、長滯御役所様江被為仰遣被下度奉願上候、以上

子二月

田井村願人 弥兵衛

上山

御役所様

一八 書簡(受取証文返却に付)

一、昨日は緩々得貴意、殊ニ御馳走被成下、忝仕合ニ存候、然し当春中六沢伊七殿一義之節、段々御扱被成下候砌、御注文金五兩受取申候、其節貴家内様江右金証文差上置候様ニ御座候、此度壳代金ニ而差引仕候間、左様ニ思召可申候、依之右証文之義、谷地半助殿まで御返可被下候、差引之義ハ何分伊七殿ニ御尋被下度、偏ニ御願上候、尤其節御嘶可申上筈ニ御座候所、失念仕候、自非^{（可）}迎伊七殿御聞合被遊候而、証文御返シ可被下候、且又先日被仰聞候義ハ、其節申上候通、弥七殿方承候而、早速書状差上可申候間、左様ニ思召可被下候、取込早々申上候、以上

十二月十七日

自谷地

大沼喜兵衛

田井

今田弥兵衛様

用事

候得共、大沼氏相願候事ゆへ、如斯ニ御座候、尚其門
ニも御礼旁可申上候、恐惶謹言

十二月廿一日

田井

今田弥兵衛様

吉田屋五兵衛

貴下

一九 書簡(受取証文返却に付)

以手紙申上候、先以寒氣甚敷御座候得共、弥御家内様御
揃御勇勝ニ可被遊、珍重之御義ニ奉存候、当方無事ニ罷
有申候

一、酒田大沼氏と喜兵衛参り候而、春中伊七方へ相渡候
五両之証文、右金子分荷物差登せ申候間、右之証文請
取申度段、申事ニ御座候、御世話ニは有之候得共、貴
公様御所持にて有之候ハ、則共ものへ御渡、御返し
被下様ニ願上候、右伊七方ニ有之候ハ、乍御面倒御
添翰被成下、共もの分廻相渡す様ニ、御取計ヒ願上候、
最早月廻ニ相成候間、何程か御取込ニ御座可被遊奉察
候、御鬮敷所へケ様成ル儀申上候も、至て延引ニ御座

二〇 (惣七紅花代金横取に付) 濟口証文

差上申濟口証文之事

一、羽州村山郡田井村名主弥兵衛煩ニ付、代勝平奉申上
候、同国同郡荷口村百姓惣七儀、同郡天童田町善太郎
方と、紅花売支配ニ付、京都江籠越候ニ付、私方紅花
之儀も同様ニ差遣具候様相願候ニ付、則紅花七駄片馬
差遣候処、右代金百九両老分銀拾匁四分五厘、渡方相

滞候ニ付、濟方被仰付被下置度段当八月中、土岐美濃守様江奉出訴、当十月十三日御差日御尊判頂戴相附、則双方罷出、一通御吟味之上、相手惣七儀入牢被仰付、其後双方被召出、御吟味被成下候処、相手惣七御答奉申上候儀不埒之段、依之此上御牢内ニおゐて、敵數御吟味可被仰付旨被仰渡候処、江戸両宿共取扱、内濟為致度御吟味御日延奉願上、則取扱御始末、乍恐左ニ奉申上様

一、訴訟人勝平申立候紅花代金、百九兩壹分銀拾匁四分五厘、相手惣七方急度皆濟可致候処、惣七儀甚不身上もの故、調達仕兼候ニ付、右惣七俸小四郎増平、右兩人当十一月より来ル丑ノ十二月迄、勝平方江質物奉公ニ差出、金拾兩借用致外ニ、金三兩者右惣七家財諸道具引当として、付徒ニ罷出候五郎兵衛勤兵衛方差出し、都合金拾三兩此度勝平方江相渡、殘金九拾六兩壹分銀十匁四分五厘者、惣七儀身上取続、相応ニ渡世致罷在候ハ、追々ニ相濟可申答、双方無申分熟読内濟仕、偏ニ御威光と難有仕合奉存候、然ル上ハ、右一件

二付已来、双方方決而御願ケ間舖儀、申上間敷候、為後証双方並江戸両宿加判仕、濟口証文差上申処、仍而如件

松平山城守領分

羽州村山郡田井村

名主弥兵衛煩ニ付代

明和五子年十一月

訴訟人 勝平

宮村孫左衛門御代官所

同国同郡荷口村

相手 百姓 惣七

付徒人与頭 五郎兵衛

名主伝九郎代

同 年寄 勤兵衛

麻布南日ヶ久保町

江戸宿伊勢屋

扱人 五兵衛

代新五郎

馬喰町壹町目

御奉行所様

同 津嶋屋

同 清八

〆 紅印紅花 四丸

〆 巻左 十六入

現金三拾両かへ

〆 金六拾八両壹分ト

拾式匁

御売付代金かへ

二 紅花代金差引覚

右之内へ

丑五月六日

一、六匁五分四厘

端銀歩二而下入不足

一、五匁六分七厘

〆 紅印巻左

手板表不足大津川口へ払

十一月六日
一、金三拾八両壹分ト拾式匁

一、丁百拾八文

〆 大印 五丸

〆 大印紅花 五丸

代巻匁七分七厘

手板表不足敦賀

十六入三

清水二兵衛殿江払

拾七入式

一、丁四百九拾五文

〆 大印 五丸

〆 巻百拾八袋

代七匁二分七厘

手板表不足塩津

現金三拾両かへ

中村佐右衛門殿へ足払

一、金三拾両

一、七匁式分

〆 大印 五丸

手板表不足大津川口弥藏殿へ払

一、六匁八分

歩判切ちん

一、廿匁七分

山形迄下しちん

一、三百文

山形方谷地迄まし

代四匁三分五り足

メ 六拾匁弍式分

取かへ銀引

引残而

金六拾七匁弍分卜

拾四匁八分

右之所へ六拾七匁弍歩下ス

匁弍式分不足御取かへかし

右之通御売付代金不残相渡し、此表無出入相濟申候、算

用違等御座候ハ、重而御互ニ差引可申候、以上

明和六年

近江屋九郎兵衛[㊤]

丑ノ十一月六日

今田弥兵衛様

三二 (紅花仕入代金年賦) 一札

一 札

一、金五拾兩也

右者去ル亥ノ夏、紅花仕入金ニ而差下申処、荷口村宗七

殿一件ニ付、是迄御延引ニ相成居申候、此度真木新助殿

真木藤左衛門殿御取持を以、右金子年賦ニ致相濟申候、

尤請取方当寅秋方来之亥ノ秋迄、毎年金五兩宛十ヶ年賦

ニ致相濟申候処、実正明白也、然ル上者是迄如何様之証

文書付有之候共、御互ニ得心之上、此一札之通、十ヶ年

賦ニ相濟申上者申分無之候、為後日之年賦一札仍而如件

明和七寅年七月

京都 若山屋喜右衛門[㊤]

証人 真木藤左衛門[㊤]

最上田井村

今田弥兵衛殿

年賦金請取之覚

一、金五兩也

右者当寅年分年賦金、髓ニ請取申候、以上

明和七寅年七月

若山屋喜右衛門^印

今田弥兵衛殿

(包紙)

「一札入」

一、金三步

毛氈三枚代

一、拾九匁

唐紙一本代

一、壹匁七分

右挟板代

一、壹匁三分

竹沓本

一、三匁

あぶら紙三枚

一、壹匁

繩薙 荷物造代

五月廿日

大津たちん

一、七拾文

後六月卅日
一、六メ文

毛せん唐紙入二固

長谷川利左衛門殿払

二三 紅花代金御取替目録覚

御取替目録覚

七月十四日
一、沓厘沓毛

氈毛紙下 たちん川口払

十一月七日

一、貳厘沓毛

毛せん唐紙下し清水払

四月十四日

一、分判金拾五兩

白川寺様取かへ

一、同金 五兩

右同人様同

此り金沓兩三步と

拾匁

同日

一、六匁八分

歩判金切ちん

同日

一、卅匁四分

太ちんましとも

十四日

一、八分四厘

毛せん唐紙下し中村払

十二月廿日

一、三匁貳分五厘

大津たちん

メ

金百貳兩貳歩

銀八十匁匁四分

錢百四十貳文

此代貳匁

メ銀八拾三匁四分

此金壹匁壹分

合金百三兩三歩

右之内へ

五月一日

一金貳兩

難船割

貳文半

うけとり

此り拾壹匁八分八厘

九ヶ月メノリ

メ

差引のこり

金百壹兩貳歩

銀四匁六分

右之通り御取替候分指引仕、殘金紅花代仕切にて受取相

濟申候、以上

いせ屋源介印

明和八年

辛卯正月六日

今田彌兵衛殿

二四 紅花仕切

仕切

御手取現金金卅八兩貳歩かへ

へや大印紅花貳駄

右同金四拾壹兩かへ

一、金七拾七兩

一、金三拾八兩三歩
へや大印同片馬廿壹袋

五分
但四百七拾目宛有之

代金四拾兩壹歩と七匁貳分

内壹兩貳歩六匁七分引

但壹袋二付貳拾目宛目不足

有之引のこり如此也

右同金拾三兩かへ

一、金壹兩壹分
へや印芸花七袋

十匁匁三分

右同金廿兩かへ

へや大印同 貳袋

一、金三歩

十貳匁三分

一、金百拾七兩三歩と

銀貳四匁壹分四厘

右之内へ

一、金百壹匁貳歩

四匁六分

一、六匁五分

諸取替もの委細ハ

目録ニてあり

此度金子下りたちん

一、壹匁壹分
此度歩判切ちん

四厘

一、金百壹兩貳歩

銀丁貳匁貳分四厘

差引のこり

歩判金拾六兩壹歩と

⑩ 銀拾壹匁九分

丁錢八百拾六文

右之通売附代金差引仕、殘金此度差下、此表無出入相濟
申候、万一抜袋算用違等候ハ、重而指引可仕、為後日
依而如件

伊勢屋源介⑩

一、明和八年 辛卯正月六日

今田弥兵衛殿

二五 覺(紅花仕切)

覺

一、金三拾四兩と拾五匁三分

拾六袋入

へや大印紅花 四丸

同 印 九袋

へ 老駄九袋也

現金三拾兩かへ

一、金三兩と四匁三分七厘

へや大印紅花 七袋

へ 現金貳拾八兩かへ

㊦

へ 金三拾七兩と拾九匁六分七厘

右之通相對を以買請代金不殘相渡シ、此表無出入相濟申候、若算用違或者荷物拔袋等御座候者、御互ニ重而指引

可申候、以上

明和九年辰十月六日

今田弥兵衛殿

近江屋

九郎兵衛㊦

二六 紅花仕切

仕切

一、金六拾七兩と

銀貳匁

一、金三拾五兩

一、金貳拾貳兩貳歩

御手取現金三拾三兩かへ

へや大印紅花貳駄と貳袋

同金貳拾八兩かへ

同大印同老駄拾六袋

同金三拾兩かへ

同大印同片馬拾六袋

同金拾貳兩かへ

一、金貳兩壹歩 同大印ちり花拾三袋

十式匁

同金貳拾壹兩かへ

一、金壹兩三歩 同大印紅花六袋

十式匁

〆 金百貳拾八兩貳歩

銀貳拾六匁

二七 覚 (紅花仕切)

覚

一、金百四兩貳歩

銀拾壹匁貳分

拾七袋入

〆 大印紅花 六丸

拾六袋入

同印 貳丸

〆 貳駄六袋

金五拾兩かへ

右之通壳附代金、別紙目錄表江入、此表無出入相濟申候、
万一抜袋又ハ算用違等候ハ、重而指引可仕候、為後日
仍而如件

伊勢屋源助印

安永二年巳正月七日

今田弥兵衛殿

一、金貳拾貳兩壹歩

銀三匁七分

拾七袋入

〆 大印紅花 貳丸

〆 片片馬貳

金四拾貳兩かへ

金百貳拾六兩三歩

銀拾四匁九分

右之通相對を以買請、代金不殘相渡シ、此表無出入相濟申候、若算用違或者荷物拔袋等御座候ハ、御互重而差引可申候、以上

近江屋

安永五年申十一月廿七日

九郎兵衛印

今田弥兵衛殿

取申候所実正明白ニ御座候、尤返濟之儀者右紅花荷苞

駄、代金仕切表ニ而返金可致候、且又右証文象瀉蚶滿

寺内煎堂長老、參内入用金ニ相成候ニ付、若又京都ニ

而、右煎堂長老金子不足候ハ、右荷物代金之内ニ而

為替金外ニ取替筈ニ候様ニ、近江屋九郎兵衛方へ、添

状御頼申、為替金証文添状共請取申処、相違無御座候、

為後日仍如件

田井村証文請取主

安永八年亥七月五日

久七印

同加判人

藤吉印

田井村

弥内殿

二八 覚 (紅花代金請取)

覚

一、此度最上干紅花荷物苞駄、貴殿方江相渡し、京都近

江屋九郎兵衛方へ、可請取金三拾兩之為替金証文、請

二九 へや諸色御買物目録 (横帳)

(表紙)

「 安永九年子五月 大沼忠兵衛^⑩

へや 諸色御買物目録

今田弥兵衛殿

此金壹兩廿三匁九分壹厘

一、塩罈六個

數貳百八拾五本 四拾八匁かへ

代錢拾三貫六百八十文

外二

一、廿貫四文 田井迄諸懸物

都合錢拾七貫六百八十四文

此金貳兩七拾貳匁六厘

一、石灰 壹匁 拾貳分入 三十三文かへ

代錢三百九拾六文

外二

一、四百廿五文 田井迄諸懸物

都合殘八百廿壹文

此永拾貳匁六分三厘

一、村山茶五本

正三百五拾斤 三兩貳分半切かへ

代金貳兩拾壹匁四分五厘

外二

」

へや 諸色御買物目録

今田弥兵衛殿

」

へや 諸色御買物目録

今田弥兵衛殿

へや御買目録

一、七嶋三箇 數百三拾枚

たはこ取かへ 壹×百文かへ

代錢拾四貫三百文

外二

一、貳貫六百三十貳文 田井迄諸懸物

都合錢拾六貫九百三拾貳文

此金貳兩六拾匁四分九厘

一、切荒目貳箇ト小荷壹丸

正五拾三貫五厘 拾貳文かへ

代錢六貫四百廿文

外二

一、壹×六百三十四文 田井迄諸懸物

都合殘八貫五拾四文

一、五拾匁六分三厘 田井迄諸懸物

都合貳兩六拾貳匁八厘

一、大白砂糖三瓶 七斤入 拾六斤かへ

代金壹兩三拾壹匁貳分五厘

外二

一、八匁四分七厘 田井迄諸懸物

都合金壹兩三拾九匁七分貳厘

一、嶋木綿拾反

代七拾七匁五分

此金壹兩壹匁四匁七分七厘

一、足袋五拾五足 貳百五文替

此錢拾壹貫貳百七拾五文

此金壹兩七拾三匁四分六厘

〆金三兩貳匁六分三厘

外二

一、四匁五分四厘 買口錢

〆金三兩七匁七分七厘

一、近江表貳固 六拾枚入 丁貳拾三匁替

代銀貳百七拾六匁

外二

一、包 貳枚半直段

代銀貳匁三分

〆貳百七拾八匁三分

此金四兩六拾三匁八分三厘

外二

一、四拾四匁九分八厘 田井迄諸懸物

都合金五兩五匁八分壹厘

一、切こんふ半固

正九匁五拾匁 拾八文替

代壹匁六百廿九文

外二

一、三百四拾七文 田井迄諸懸物

都合錢壹貫九百七拾六文

此永三拾匁八分七厘

惣〆金拾九兩拾四匁七分四厘

右之通御買物代金、差引表二而相渡申候、以上

安永九年

子五月十一日

大沼忠兵衛[㊦]

今田弥兵衛殿

大石田儀兵衛

十二月十六日

一、小豆七拾表

同所 林兵衛

三月十四日

一、小豆五拾貳表

同所 儀八船

惣ノ三百九拾八表

此 払

一、小豆百表 三斗八升二合

升二三拾八石貳斗

兩壹石八斗三升也

代金貳拾兩三歩

拾貳匁四分三厘

一、同七拾壹表 三斗八升廻り

升貳拾六石九斗八升

右同直段

代金拾四兩貳歩

三〇 へや諸色売目録 (横帳)

(表紙)

「天明元年閏五月 本間与治右衛門

㊦

へや 諸色 売 目 録

今田弥兵衛殿

売 目 録

十一月廿四日

一、大豆百三拾七表

一、小豆百三拾九表

廿四匁三分貳厘

一、同三拾表 同し廻り

升拾壹石四斗

壹石八斗貳升かへ

代金六兩壹歩

壹匁三分七厘

一、同四拾表 同し廻り

升拾五石貳斗

右同直

代金八兩

三拾五匁壹分六厘

一、はね貳拾表 三斗七升八合

内壹斗五升 単切足へり

正升七石四斗壹升

壹石八斗七升かへ

代金三兩三歩

廿壹匁貳分六厘

一、大豆百貳拾表 四拾九表半かへ

代金貳拾四兩

廿四匁貳分四厘

一、大豆はね拾七表 五拾表かへ

単切在之、高方三歩引

正拾六表七分

代金三兩壹歩九匁

〆三百九拾八表払

代〆金八拾壹兩三歩

貳匁七分八厘

内

一、金壹兩貳歩

増口銭

三匁三分三厘

一八七五

一、同壹兩貳歩

売口銭、くらしき

拾三匁五分五厘

一、六匁八分九厘

大豆之とり次

一、金貳歩

水すくら入

拾貳匁九厘

〆直ちん共

小以金三兩三歩

拾匁八分六厘

殘金七拾七兩三步

拾六匁九分貳厘

多葉粉請払

三月十三日

横山久兵衛船

一、百匁

船頭義兵衛

同十四日

同 義八

一、百四拾三匁

内式拾六匁

相払

一、三百三拾壹匁

藏入預

一、へや山 貳拾匁

正味千五百七拾七斤半

百四拾五斤替

代金拾兩三步

拾貳匁九分三厘

一、同 山巴東 六匁

正味四百廿五斤六貳五

百七拾四斤かへ

代金貳兩

四拾四匁六分壹厘

一、貳拾六匁

代金拾三兩

三拾貳匁五分四厘

内

一、廿四匁九分八厘

増口錢

一、三拾九匁九分七厘

売口錢のまし

一、貳拾六匁

藏敷

一、四匁四分四厘

水上くら入作直ちん共

小以金三步

貳拾匁三分九厘

殘金拾貳兩壹步

拾貳匁壹分五厘

一、大奉式百貳帖

ノ此 弘

一、百五拾状 三拾壹状半かへ

代金壹兩

拾九匁五厘

一、五拾貳帖 三拾壹状かへ

代金壹歩

拾六匁九分三厘

ノ貳百貳帖

代ノ金壹兩

六拾匁九分八厘

内

一、四匁八分貳厘 売口銭斗

残金壹兩貳歩

六匁壹分六厘

惣ノ

金九拾壹兩三歩

拾匁貳分三厘

右之通指引表ニ而相渡相濟、出入無御座候、以上

本間与次右衛門 ㊦

丑閏五月十七日

今田弥兵衛殿

運賃取替覚

十二月十六日

一、金壹兩壹歩

廿四匁五分四厘

船頭林兵衛 兩三渡引残

三月十三日

一、同貳兩貳歩

同久兵衛相渡ス

同十四日

一、同壹兩三歩

同義兵衛同断

同日

一、同三兩三歩

同義八同断

拾匁九分四厘

此差七百元

ノ金九兩貳歩

廿三匁五厘

右之通、別紙指引二入、請取可申候、以上

本間与次右衛門 印

丑閏五月十七日

今田弥兵衛殿

内へ

十月十六日

一、金六拾五兩貳步ト

銀七匁五分

大二拾八入四ツ
上印拾七入四ツ

八丸

貳太拾貳袋 金三拾兩替

差引残而

金百六拾五兩ト

七匁五分

一、三步ト四匁五分

十半月ノリ足

メ金百六拾五兩三步ト

拾貳匁

三二 へや印紅花差引覚

九月晦日

一、金百五拾兩

本間与次右衛門殿

為替金丸屋半介殿へ渡し

一、金三步

金百五拾兩十半月り足

十月十六日

一、金八拾兩

十一屋飛脚ヲ以取替下し

メ

金貳百三拾兩三步

内へ

十一月朔日

一、金拾六兩三步ト

七匁五分

へや大二 拾八入貳丸
上印

メ片馬四袋

金三拾壹兩替

同

一、金三拾三兩三步ト

九匁三分七厘

へや大和十七入貳つ
久印十八入貳つ

四丸

〆 老太六袋 金三拾老兩替

同
一、金三拾五兩ト
〆 大天印拾七入四丸
店

三匁七分五厘

〆 老太四袋
金三拾三兩替

〆 金八拾五兩貳步ト

貳拾目六分八厘

差引残而

金八拾兩ト

六匁三分八厘

十一月五日

一、金拾五兩

巳之介様へ取替し

〆 金九拾五兩ト

六匁三分八厘

一、金七兩貳步ト
十一、十二、正、正、二、三、四、五、

六匁

〆 八ヶ月リ

五月廿四日
一、金拾五兩

高福寺様為替金渡ス

半ざし

〆 金百拾七兩貳步ト

拾貳匁三分八厘

一、金三兩貳步ト
六、七、八〆 三ヶ月リ足

壹匁五分

〆 金百貳拾老兩ト

拾三匁八分八厘

九月朔日

一、金三拾兩

高福寺様為替金渡ス

皆式朱

同
一、金五兩
御同人様へかし

〆 百五拾六兩ト

拾三匁八分八厘

一、金三步ト
九半月り足

壹匁八分

惣合

金百五拾六兩三步ト

拾五匁六分八厘

内へ

拾四匁三分八厘

九月廿日

一、金四拾貳兩三步

へや 谷印 拾八入四丸

へや 太八袋

金三拾三兩替

一、五匁壹分

へや 上二印七丸手板不足
丸屋半介殿へ払

一、金百拾七兩貳歩下

三匁七分五厘

へや 天上印 拾八入三つ五丸
へや 天印 拾七入貳つ

一、拾匁九分

中村佐右衛門殿へ払
同印七丸大津太質

へや 大吉印 拾八入 四丸

一、三分六厘

川口弥藏殿へ

同印 拾壹袋

へや 大天印貳丸、へや 大和二丸へ六
店 印貳丸、へや 久手板不足二而中村佐右衛門殿へ

へや 貳太片馬拾壹袋
押込金四拾四兩替

一、拾匁貳分

同印六丸、大津太質

一、金貳兩下

拾壹匁貳分五厘

へや 大七天 七袋
チリ

一、壹匁九分壹厘

川口弥藏殿へ

へや 金貳拾兩替

へや 金百六拾貳兩壹歩下

拾五匁

一、拾匁貳分貳厘

へや 大上二印五丸、へや 大天印貳丸
へや 七丸手板不足丸屋半介殿へ

同印七丸塩津掛り物
中村佐右衛門殿へ

差引残而

一、拾匁九分

同印七丸大津太質

金五兩壹歩下

川口弥藏殿へ

一、四匁八分八厘

へや大印四丸、へや手板不足
谷 中村佐右衛門殿へ

此金貳兩壹歩ト

貳匁五厘也

一、六匁八分

同印四丸、大津太質

惣差引残而

金三兩ト

一、三匁壹分

川口弥蔵殿へ
へや大上印五丸、へや手板不足
天 中村佐右衛門殿へ

拾貳匁貳分七厘

又 三匁五分八厘

卯正月十四日

一、八匁五分

同印五丸、大津太質

差引預り

川口弥蔵殿へ

へや銀拾五匁八分五厘

一、三匁七分六厘

へや大天印五丸、へや手板不足

へや金三兩壹歩ト

八分五厘

一、八匁五分

中村佐右衛門殿へ

右之通差引過上金預り置、重而差引可仕候、已上

同印五丸、大津太質

天明四年甲辰

卯九月廿日

九月廿日

近江屋

一、拾六匁五分

金百五拾兩半ざし貳朱質

九郎兵衛

印

一、拾貳匁

金八拾兩土屋下し

貳朱部判打

今田弥兵衛殿

一、拾壹匁貳分

金八拾兩下し質

へや百三拾七匁五厘也

三三 巳紅花仕入覚帳 (横帳)

(表紙)

天明五年

田井村

巳紅花仕入覚帳

六月吉日

今田弥兵衛

┌

覚

六月拾日

一、五拾文

嘉吉

一、百八拾文

源次

一、六拾文

源六

壹メ五拾匁

一、五百貳拾五文

手花

メ八百拾五文

水花貳メ三百匁

此千三分

六月十一日 四十五文かへ

壹メ五十匁

五メ五百匁

壹メ八百匁

手花

メ八貫三百五十匁

代三メ七百五十七文

壹メ九百七拾文

源次郎

一、八百八拾七文

貳メ匁

善藏

一、九百文

貳メ六百拾匁

孫七

一、壹メ貳百貳十文

九百八拾匁

多郎三

一、四百四拾三文

貳メ六百匁

庄蔵

一、壹メ四七十文

一、四百三十文

小作

一、貳百四十文

三八

一、三百四十五文

伝吉

一、四十八文

同人

五百六拾匁

可成下候、尤運賃大石田を金三分丁銭老實文相添、差遣申候間、夫々御引取早々先々江御送可成下候、為念紅花荷物送手形仍如件

一、貳百五拾三文

市右衛門

羽州最上田井村

一、九百文

与右衛門

巳六月廿八日

今田 弥兵衛

△拾貫五百九拾三文

最上大石田

外二

一、七拾四文

太郎三

庄内酒田

六沢屋金十郎殿

一、五拾文

庄之助

本間与次右衛門殿

一、九拾文

要かへ

越前敦賀

一、ちり六拾匁

弥作

丸屋半助殿

一、同百六拾匁

久七

近州塩津

中村佐右衛門殿

最上紅花送手板

同州大津

大
へや二 天 壹駄壹丸 封印

川口弥藏殿

但 駄二四固附

京都

五百匁入拾八袋造

いせや源助殿

右者紅花荷物送遣申候条、所々二而濡摺等御改、御受取

御蔵入

最上紅花送手板

大
や二 駄
天印 壹駄壹丸 封印

但 駄二四固附
五百匁袋入十七袋造

右者最上紅花荷物送遣申候条、所々ニ而濡摺等御改、御
受取可被下候、尤大石田方運賃金三步丁銭壹貫相添、差
遣申候間、夫々御引取早々先々江御送可成下候、為念送
手板仍如件

羽州最上田井村

巳六月廿八日 今田 弥兵衛

最上大石田

六沢屋金十郎殿

庄内酒田

本間与次右衛門殿

越前敦賀

丸や半助殿

近州塩津

中村佐右衛門殿

近州大津

川口弥藏殿

京都

若山屋勘右衛門殿

御藏入

最上紅花送手板

大
や天 壹駄
店印

駄四固附

但 十七袋入

五百匁入 封印

右者最上干紅花京都江為登申候間、所々ニ而濡摺等御改、
御請取可成下候、尤大石田方金三步運賃金相添、差遣申
候間、夫々御引取、先々江早々御送可成下候、送手板如
件

羽州最上谷地田井村

巳七月四日 荷主 今田弥兵衛

羽州最上

六沢屋金十郎殿

庄内酒田

本間与次右衛門殿

越前敦賀

丸屋半助殿

近州塩津

中村佐右衛門殿

同州大津

川口弥藏殿

京都

伊勢屋源助殿

御蔵入

最上干紅花送手板

大
へや和
上印 壹駄

但駄四固附

五百匁入拾八造

封印

内大店ちり五袋造込

右者最上干紅花荷物送、為差登申候条、所々二而濡摺等

御改、御受取可被下候、尤運賃金大石田と金三步相添差

遣申候間、夫々御引取、先々江早々御送可被成下候、依

紅花荷物送手板如件

羽州最上谷地田井村

巳七月四日

荷主 今田弥兵衛

羽州大石田

六沢屋金十郎殿

庄内酒田

本間与次右衛門殿

越前敦賀

丸屋半助殿

近州塩津

中村佐右衛門殿

同州大津

川口弥藏殿

京都

伊勢屋源助殿

御蔵入

最上紅花送手板

へや 店 印 壹駄

但 駄二四固附

五百匁入袋十八袋造

内大二天ちり五袋造込封印

右者最上干紅花荷物、送為差登申候条、所々ニ而濡摺等御改、御受取可被成下候、尤大石田より運賃金三步相添、遣申候間、夫々御引取、先々江早々御送可被成下候、送手板仍如件

羽州最上谷地田井村荷主

巳七月四日

今田弥兵衛

最上大石田

六沢屋金十郎殿

庄内酒田

本間与次右衛門殿

越前敦賀

丸屋半助殿

近州塩津

中村佐右衛門殿

同州大津

川口弥藏殿

京都

若山勘右衛門殿

御蔵入

最上紅花送手板

へや 大 上 二 印 壹駄

但 駄二四固附
五百匁入袋十八造

右者最上紅花荷物送遣申候条、濡摺等御改、御請可被成下候、尤運賃金大石田より三步相添、差遣申候間、夫々御引取、先々江早々御送可被成下候、仍送手板如件

羽州最上田井村荷主

今田弥兵衛

巳七月十日

最上大石田

六沢屋金十郎殿

庄内酒田

本間与次右衛門殿

越前敦賀

丸屋半助殿

近州塩津

中村佐右衛門殿

同州大津

川口弥蔵殿

京都

若山勘右衛門殿

御蔵入

最上紅花送手板

大
二
上
印
壹丸

但 駄二四固附
五百匁入十八袋造

同
リ
チ
印
壹丸

但 駄二四固附
五百匁入袋十六造

同
吉
大
印
壹丸

但 駄二四固附
五百匁袋十九造

内
大
二
上
五袋

同
リ
干
三袋

同
谷
大
七袋

同
天
吉
大
四袋

三固

右者最上干紅花為差登申候条、濡攪等御改、御請取可被
成下候、尤運賃大石田方金式分丁錢五百文、相添遣申候

間、夫々御引取、先々江御送可被成下候、仍送手板如件

最上紅花送手板

羽州最上田井村荷主

大印 貳丸

巳七月十二日

今田弥兵衛

羽州大石田

但 駄二四固附
五百匁入十九袋造

六沢屋金十郎殿

大 同吉印 壹丸
天

庄内酒田

右同断

本間与次右衛門殿

三丸 封印

敦賀

丸屋半助殿

近州塩津

中村佐右衛門殿

同州大津

件

川口弥蔵殿

羽州最上谷地田井村

京都

若山屋勘右衛門殿

羽州大石田

巳七月十二日

今田弥兵衛

御蔵入

六沢屋金十郎殿

庄内酒田

本間与治右衛門殿

越前敦賀

丸屋半助殿

近州塩津

中村佐右衛門殿

同州大津

川口弥蔵殿

京都

伊勢屋源助殿

御蔵入

〔(裏表紙) 任意集 〕

三三 大 へや諸色売目録 (横帳)

〔(表紙) 天明八戊申十二月

本間与次右衛門

印

大 へや諸色売目録

今田弥兵衛殿

大 へや売目録

未十二月仕切残り

一、へや宝 たはこ八固

同十月廿一日

一、大豆百四俵

一、小豆百五拾九俵

一、小麦貳表

十二月五日 御手船仁兵衛

十二月五日

一、へや大上 拾五固

一、同大上 四固

一、同天 壹固

同断 喜兵衛

二月十九日

一、丸黒拾八表

一、小豆 貳表

一、大豆 貳表

一、へや大 五固

一、同上大 四固

一、同上大 老固

一、同三 老固

右 同人船

二月廿三日

一、大豆百八俵

一、小豆百三拾八表

一、平黒豆四俵

横山久太郎船

同廿九日

一、小麦 壹表

一、大豆 壹表

一、平黒豆五表

一、又はき芋貳丸

一、へや大 拾四固

御手船山三郎船

四月廿五日

一、小豆七拾七表

一、大豆 廿八表

一、青豆 七表

横山圃之分 同喜兵衛

同人積状

五月十六日

一、小豆百九俵

一、大豆 拾表

一、青豆 三表

圃之分 右同人船

仁兵衛殿積状

六月五日

一、へや上 貳固

一、一や上 壹固

一、同大 廿九固

一、同大 五固

一、同上 七固

一、同二上 貳固

一、同 四固

五拾固

一、又はき芋式丸

一、小豆七拾式俵 但送り状あり

八表不足

御手船久助

六月廿五日

一、小豆 六俵

一、大豆 壹俵

横山久太郎舟

大原村長四郎殿出し

八月廿六日

一、柏倉米式百六拾三俵

御手船久助舟

御直出し

大豆式百五拾四俵

小豆五百六拾三俵

丸黒 拾八俵

平黒 九表

青豆 拾俵

小麦 三表

柏倉米式百六拾三表

又はき芋 四丸

たはこ 百三固

但仕切残りとも

此 払

一、大上山々 取合拾五固 百廿五斤也

正味千式百三拾六斤式五

代金九兩八拾九匁

一、大^ス吉^ノ上^三 壹固 七拾五斤也

正^ミ 六拾八斤七五

代金九拾壹匁六分七厘

一、上山七 七固 百廿式斤也

正^ミ 五百廿六斤八七五

代金四兩三拾壹匁八分六厘

一、大テ 拾四匁 百四拾貳斤也

正ミ 千五拾壹斤貳五

代金七兩四拾匁三分貳厘

一、大 貳拾九匁 平均百拾斤也

正ミ 貳千貳百五拾八斤貳五

代金拾七兩三拾七匁貳分貳厘

一、一やクサ 壹匁 百五斤也

正味 七拾壹斤貳五

代金六拾七匁八分六厘

一、^{上二}三印 三匁 百廿斤也

正味 貳百拾九斤三七五

代金壹兩八拾貳匁八分壹厘

一、古 貳匁 ならし百五斤也

正味 百五拾斤六貳五

代金壹兩四拾三匁四分五厘

× 七拾貳匁貳

残而三拾壹匁 藏入預

未ノ年六匁も

代金四拾三兩八拾四兩九分

内

一、八拾貳匁貳分

御役

一、壹兩三拾壹匁五分貳厘

売口錢三部

一、七拾貳匁

藏しき

一、拾六匁七分

水上くら入口切作直し

但喜兵衛船廿匁水とりちんとも

小以金三兩貳匁四分貳厘

引残金四拾兩三步

六匁六分七厘

穀物払

一、小豆貳百五拾表

三斗八升貳合

升九拾五石五斗

壹石貳斗五升也

代金七拾六兩四拾匁

一、同百五拾俵

三斗八升廻り

升五拾七石

壹石貳斗七升也

代金四拾四兩八拾八匁壹分九厘

一、同五拾表

三斗七升九合

升拾八石九斗五升

壹石三斗五升也

代金拾四兩三匁七分

一、同七拾九俵 小粒

但舟頭松兵衛積取り之分

三斗八升廻り

升三拾石貳升

壹石四斗五升也

はねなし

代金廿兩七拾匁三分四厘

一、同 はね三拾四俵

三斗七升六合

内五斗六升 単切輕表、惣高方込へり

正升拾貳石貳斗貳升四合

壹石四斗七升也

代金八兩三拾壹匁五分六厘

一、大豆貳百拾七俵

三拾壹表半也

代金六拾八兩八拾八匁八分九厘

一、同 はね三拾七表

三拾五表かへ

内半表 輕俵単切込へり

正ミ三拾六俵半

代金拾兩四拾貳匁八分六厘

一、青豆拾俵 三拾三俵かへ

代金三兩三匁三厘

一、小麦三俵 四斗壹升七合

升壹石貳斗五升壹合

九斗五升也

代金壹兩卅壹匁六分八厘

一、丸黒六俵 三斗八升廻り

升式石式斗八升

五拾四文替

代拾壹メ八百五拾六文

此金貳兩四匁四分壹厘

一、柏倉米貳百六拾三俵

三拾三俵かへ

はねなし

代金七拾九兩六拾九匁七分

千九拾九表払

残而平黒 九俵

丸黒拾貳表

廿壹表 蔵入預

代金三百廿九兩貳歩

廿四匁三分六厘

内

一、金六兩拾八匁貳分六厘 御役

一、同六兩五拾九匁四分九厘 売口銭蔵しき

一、四拾匁五分壹厘 舟大豆とり次

一、壹兩九拾匁七分七厘 水上くら入直し

小以金拾五兩九匁三厘

引残金三百拾四兩貳歩

拾五匁三分三厘

一、又はき四丸 四拾文也

正ミ四拾六メ匁

代拾八メ四百文

此金三兩拾七匁貳分四厘

内

一、五匁九分五厘 御役

一、拾匁三分四厘 売口銭蔵敷

一、六分九厘 水上くら入

小以十六匁九分八厘

引残金三兩貳分六厘

三口

金三百五拾八兩

四拾九匁貳分六厘

九拾匁三分三厘

五月十六日

右之内

運賃取替覚

一、同三兩

久助舟

三拾匁匁貳分五厘

六月五日

一、同二兩

右同人男売古之分

廿匁匁貳分四厘

此度相渡ス

一、拾六匁六分壹厘

久太郎

六月廿五日

八月廿六日

久助ふね

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

一、金五兩

拾六匁四分六厘

未十月廿一日

一、金貳兩壹步

久助ふね

六月廿五日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

一、六拾壹匁三分八厘

庄兵衛船

同十二月五日

一、金貳兩壹步

久助ふね

六月廿五日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

一、八拾八匁六分

右同人船

二月十九日

金廿四兩拾八匁八分八厘

引殘金三百三拾四兩壹步

三匁三分八厘

三匁三分八厘

三匁三分八厘

三匁三分八厘

三匁三分八厘

三匁三分八厘

一、金三兩

久太郎船

二月廿三日

一、金貳兩壹步

久助ふね

六月廿五日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

四拾六匁

二月廿三日

二月十九日

一、金貳兩壹步

久助ふね

六月廿五日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

一、同貳步

山三郎舟

二月廿三日

右之通壳代金、別紙差引ニ入相渡申候、以上

本間与次右衛門

天明八年申十二月

今田弥兵衛殿

同 弥次郎殿

同 弥次郎殿

拾四匁八分六厘

二月廿三日

二月十九日

一、同貳步

久助ふね

六月廿五日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

一、同貳貳步

喜兵衛舟

二月廿三日

一、同貳步

久助ふね

六月廿五日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

拾貳匁壹分

四月廿五日

二月十九日

一、同貳步

久助ふね

六月廿五日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

一、同貳兩

右同人舟

二月十九日

一、同貳步

久助ふね

六月廿五日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

三四 紅花代金差引目錄

紅花代金差引目錄

一、金百六兩と

へや御印

銀式匁六分三厘

仕切表

此所へ

申九月十日

本間与治右工門殿

一、金百兩

為替相渡

大阪嶋町

大黒屋源兵衛殿

同日

一、銀式匁三分

為替打状賃共

同日

一、銀式拾匁

式朱判打

此り

一、金六兩

申九月廿酉二月迄

申十月十日

一、金五兩

義峯和尚様為替渡ス

へ六ヶ月利足

同

一、銀七分五厘

右金子式朱判打歩切賃

此り

一、金壹歩

へ五ヶ月ノ利足

へや天
店四丸

へや大
天一丸

へ五丸
手板不足

田保氏へ拂

一、銀七匁四分七厘

右五丸塩津かかり内

中村佐右工門殿渡ス

へや玉紅、四丸、吉上

一丸

一、九匁壹分

作り合一丸

へ手板
添金不足

丸や半助殿へ渡

一、銀八匁九分貳厘

為後日仍而如件

右六丸掛り内
塩津中村氏へ渡ス

一、銀貳拾壹匁
御印拾壹丸

寛政元年
伊勢屋源助 ㊤

四分五厘
川口弥蔵殿へ

酉二月廿六日

登し駄賃渡

ノ金百拾壹兩歩と

今田弥兵衛殿

銀七拾三匁七分三厘

差引残而

金五兩壹歩と

銀七拾壹匁壹分

三五 干紅花仕入覚帳 (横帳)

五六貳

此金壹兩壹歩と

(表紙)
一 寛政元年 天童田町

銀八分五厘

干紅花仕入覚帳

合 金六兩貳歩と

酉壬六月吉日 今田店 一

銀八分五厘

右之通差引仕、残金之儀者御取替ニ附出し置申候而、此表無出入相濟申候、若算用違も候ハ、重而差引可仕候、

壬六月十三日
一、六分
栄助

代金三拾三兩式分永拾匁

内金拾兩渡

金三拾兩廿五日渡ス

同十四日

一、五拾九匁卜百式拾匁

伴治

代金五拾五兩式分

永拾壹匁四厘

内

金拾四兩式分ト六百文 渡ス

金貳拾兩 七月十二日渡

同日

一、五拾兩

嘉六

代四百五十文

店b私

同十五日

一、九拾匁

大工

代九百文

右同断

壬六月十五日
一、正ミ五メ八百匁

清助

代金拾壹兩式分

内

金七兩

相渡ス

又貳兩

相渡

同日

一、正ミ六百四拾匁

權兵衛

代壹兩壹分

同日

一、正ミ五百式拾匁

いえ衆

代壹兩

一、正ミ

巳之助かへ

代金七拾九兩壹分ト壹メ貳百文

内

金五拾兩

廿九日渡ス

金拾兩ハ

廿三日渡ス

六拾壹兩式分かへ

一、三拾六匁

栄助

代金

内 五兩
五兩

相渡
相渡

一、三百拾匁 伴治

代式メ五百文 店の私

メ 四駄

代金

外二

ちり 式メ八百匁 巳之助

代

七月朔日

一、正ミ卷メ百七拾匁 新八

代金式兩卷分 巳之助遣し

七月二日

一、正ミ式拾九メ百匁 文蔵

内十五袋、八袋受取

此代金六拾兩式分

十三兩式分 七月廿九日渡

廿兩 七月廿六日渡

内 拾兩 相渡ス

金式分 栄助渡

五兩八 店の渡ス

式分 七月十六日店の渡し

式分式メ八百四十文 廿三日店の

拾七兩 七月廿四日渡

七月三日

一、正ミ式百五拾匁 庄蔵

代卷分ト卷メ百匁

同日

一、正ミ三百拾匁 乱川 文蔵

代金式分ト四百文

内四百文 渡ス

七月四日

一、三百拾五匁 上 庄六

代金式分ト八百文 巳之助の渡

同日

一、式メ四百七拾匁 上 伝六

外二三拾匁 風代出目

代金五兩式分ト三百八拾文

此袋五袋ト三百廿五匁

七月五日
一、式拾三袋ト百廿匁 小八

代金式拾壹兩

同日 六十兩かへ
一、式拾七袋ト百五拾匁 栄助

代金

内金壹兩三分ト五百文 店と渡

同日 五拾壹兩かへ
一、九袋ト四百六拾匁 同人

代金

七月十六日
一、三百式拾匁

代金式分ト三百五十文

此駄数式駄壹袋

栄助指引

一、金三拾三兩式分永拾匁 紅花六分代

駄二六拾壹兩式分かへ

一、金三拾四兩壹分 千五分六厘二五

永廿四匁三分七厘

駄二六拾兩かへ

一、金式拾五兩壹分 千四分式厘壹八七五

永六匁式分五厘

駄二五拾壹兩方かへ

一、金七兩三分 千壹分五厘四五

永拾匁七分壹厘 壹式五

百壹兩壹分

永壹匁三分式厘

内

六十六匁 六拾兩かへ

代永拾三匁式分 さし花り

九拾匁 六拾壹兩替

代拾八匁四分五厘 さし花り

金拾兩 壬六月十三日

金三拾兩 六月廿九日渡

金五兩 店と渡

金五兩

右同断

金三兩三分

金壹兩三分卜五百文

右同断

永拾匁分七厘

金三拾兩

七月十八日渡

此錢五百六拾九文

金三兩

店と渡

此金代七月廿二日渡相濟

金貳兩壹分

右同断

巳之助指引

金拾兩

七月廿日渡

一、金七拾九兩壹分卜

ノ九拾七兩壹分

卷メ貳百文

永六匁六分五厘

新八分

錢五百文

一、金貳分卜八百文

庄六分

此永九匁五分

一、金貳兩卜七百貳拾文

干り花代

ノ八拾四兩卜

式メ七百貳拾文

(貼紙)

一、金四兩

栄助二渡

内

金壹兩壹分

店と渡

金拾兩

渡し

右同断

金五拾兩

渡し

夫文五郎

金拾四兩

渡し、七月廿日

引残

小以八拾四兩

金拾兩

渡し

引残 式メ七百貳拾文

金錢受取覚

壬六月十一日
一、金拾壹兩

ゆゑ受取

一、金五兩

嘉六と預り

此金店と返金

一、金五兩

店と受取

廿九日
一、金四兩

兩度ニ
右同断

廿八日
一、金百兩

ゆゑ受取

同日
一、金九兩貳分

右同断

同日
一、金九兩貳分

右同断

同日
一、金九兩貳分

右同断

同日
一、金九兩貳分

右同断

同日
一、金九兩貳分

右同断

同日
一、金九兩貳分

右同断

同日
一、金九兩貳分

右同断

内卷分ト五百文

二日ニ基十郎ニ渡

ノ百三拾四兩卷分

卷メ六百元

朔日
一、金貳兩卷分

巳之助と預り

三日
一、百四拾壹文

栄助と受取

但駄ちんの内、半駄ちん受取

七月五日
一、金壹兩三分ト

店と受取

八百八拾文

六月廿四日
一、金貳兩

ゆゑ巳之助渡

七月十二日
一、金六拾六兩

ゆゑ持参

七月廿二日
一、金八兩

七月廿二日ゆゑ持参

一、卷メ文

七月廿二日店と受取

一、金壹兩

七月廿四日同断

一、金五兩

七月廿四日夫勝太、巳之助代

内金壹分四百拾文

当分かり

内金壹分四百拾文

当分かり

但店帳ニ控置候

一、金貳拾兩

七月廿五日夫同人

但右同断

源十郎殿方かり

ノ 三拾四兩ト壹メ文

ノ 十三兩三分貳朱

利足

右之払

同拾壹兩三分

金三兩三分ト

七月廿二日

外貳兩貳朱

店ノ渡

五百六拾九文

栄助ニ渡す

三兩三分

巳之助ニ渡

金拾兩

七月廿四日文藏渡

ノ 十五兩貳分

金壹分

同日半右衛門殿遣し

残壹兩有

貳百文

七月廿四日肴代

七月廿六日
六百文

入ニ付巳之助かへ花御役

但梅庵殿鱒八尾ニ而病人見舞

七月十九日
壹百七拾六文

同 小八ニ渡

錢百文

七月廿四日さん初尾

七月廿九日
金貳兩壹分貳朱

店ノ入、幸庵分

貳拾兩

七月廿六日文藏ニ渡

但夫直々乱川弥兵衛持参仕候

八月三日
金三兩

同 店ノ入

ノ 三拾四兩ト壹メ文

紅兩三度文藏ニ渡

七月廿九日

同 店ノ入

同 店ノ入

十六兩貳分之内残

金壹兩

持参

〆四兩

八月三日

金百兩

山形為替金受取

八月六日

金三拾四兩

同 ゆゑ持参

金拾兩

八月九日同孫兵衛〆

金貳兩

同十日 同人〆当座かり

〆四拾六兩

内

金貳拾兩

八月七日入ル伴治ニ渡

金貳拾兩

八月十日入ル溝延東あらやニ而
(ママ) 両外見積ニ上

但店へ銀之受取置候

〆四拾兩

残六兩 持参仕候

八月十一日帰ル

三六 (紅花代金差引) 目錄覚

目錄覚

一、金百三拾六兩

太へや紅花仕切〆高

右之内

八月晦日

酒田本間庄五郎殿〆為替ニ

一金百兩

御取組被成、大阪炭屋善五郎

殿相渡し

此り金壹兩

九月一ヶ月利

一銀廿壹匁

貳朱判打

九月朔日

一步金廿兩壹匁貳朱

銀壹匁五分

当地若山屋喜右エ門殿為替

被仰遣、則利足とも相渡し

此り銀拾壹匁貳分一ヶ月利

一銀四匁六分五厘

貳朱打

へや天店四丸御手板不足

一 銀拾三匁七分五厘 壹分壹厘敦賀拂

五匁八分四厘 塩津拂

七匁四分 大津拂

合金百廿貳兩三步

銀五匁壹分六厘

差引殘金拾三兩貳朱

銀壹匁七分一厘

一 銀拾五匁六厘

同玉紅四丸御手板不足

壹匁四分貳厘 敦賀拂

五匁八分四厘 塩津拂

七匁八分 大津拂

右之通紅花代金差引不殘相渡、此表無出入相濟申候、萬一算用違候ハ、重而御差引可仕候、為後日仍而如件

寛政元年

西十月

伊勢屋

理右衛門

印

同上店極紅四丸御手板不足

壹匁四分 敦賀拂

五匁九分貳厘 塩津拂

七匁八分 大津拂

今田弥兵衛殿

藤屋 金助殿

一 金百廿壹兩壹步貳朱

銀八拾匁七分八厘

此金壹兩壹步貳朱

三七 紅花仕切

仕切

銀五匁壹分六厘

現金七拾三兩替

一、金六兩三歩と

へや飛印 紅花六袋

銀五匁三分

金助殿と請取

此利掛戻し

金貳朱と銀四匁三分

九月と霜月迄

三ヶ月利足掛戻し

九月晦日手取

現金六拾五兩替

一、金四拾三兩貳歩貳朱と

銀貳匁六分

大へや天印 紅花 十七入 二丸九袋 片馬拾壹

右同金六拾三兩替

一、金六拾三兩

大へや上店印 紅花 拾六入 四丸 壹駄

右同金五拾七兩替

一、金九兩三歩ト

銀貳匁六分

へや上吉印 紅花 拾壹袋

此三口と金百拾六兩壹歩貳朱

銀五匁三分

此利掛戻し

金貳兩壹歩ト

銀四匁三分

此度

一、金六拾九兩と

銀三匁四分六厘

大へや二印 最上紅花 十七入四丸 壹駄四袋

同

右同金三拾兩替

一、金貳兩三歩と

銀三匁四分六厘

へや玉紅印 紅花六袋

同

右同金貳拾五兩替

一、金三兩貳朱也

大へや上吉と出ルチリ紅花 七袋 へや天店と出ルチリ花 壹袋

八袋也

金貳百兩壹歩貳朱と

銀貳拾五匁九分貳厘

此金壹歩貳朱ト銀五匁分壹厘

右之通御相對ヲ以売附仕、代金之儀者別紙目錄表ニ而差

引仕、殘金不殘相渡、此表無出入相濟申候、万一抜袋違

花等又者算用違杯茂有之候ハ、重而差引可仕候、為後

日仕切状依而如件

寛政元年

伊勢屋源助

印

酉霜月廿九日

今田弥兵衛殿
庄司 金助殿

三八 紅花代金差引之覺

紅花代金差引之覺

皆貳朱判

一、金貳百兩壹歩貳朱

御印紅花

銀貳拾五匁九分貳厘

御仕切表ハ高

五五八

此金壹歩貳朱ト

銀五匁分壹厘

合金貳百兩三歩ト

銀五匁分壹厘

此所之内

一、金六百貳歩ト

酉二月廿七日御出立之砌

銀八分五厘

差引殘金御取替

此利金貳歩貳朱ト

三月ハ霜月晦日迄

銀壹匁四分

ハ十ヶ月利足

酉八月晦日

一、皆金百兩

為替大坂炭屋善五郎殿下し

一、銀貳拾匁

右皆金渡貳朱判打

此り

一、金三兩

九月と霜月晦日迄

〆三ヶ月利足

一、銀貳匁三分

大坂為替之打

手形入状下し質

九月十九日

一、歩金貳拾八兩壹歩也

烏孝長老様為替渡

一、銀五匁六分五厘

右金子貳朱判打

此り

一、金貳歩貳朱ト

九月十七日と霜月晦日迄

銀四匁五分壹厘

〆二ヶ月半利足

一、銀五匁八分四厘

〆や二天四丸、塩津掛り物

中村佐右衛門渡

一、銀壹匁五分五厘

同四丸、御手板不足

田保孫右衛門渡

一、銀壹分壹厘

〆や上庭四丸、御手板不足

丸屋半助殿渡し

一、銀五匁八分四厘

〆や上庭四丸、塩津掛り

中村佐右衛門殿渡し

一、銀壹匁五分五厘

〆や天庭四丸、御手板不足

田保孫右衛門殿渡

一、銀五匁八分八厘

同四丸、かかり物

中村佐右衛門殿へ

一、銀貳拾匁四分

〆や御印紅花、拾式丸

大津と京迄

川口弥蔵殿へ渡

一、銀拾匁八分五厘

此度掛金、皆金打

〆金百三拾九兩と

銀八拾六匁七分三厘

此金壹兩貳歩ト

銀三匁四分八厘

合金百四拾兩貳歩と

銀三匁四分八厘

差引残而

皆金六拾兩壹歩と

銀壹匁六分三厘

三九 御売仕切事

御売仕切事

九月四日水揚 古酒屋半兵衛舟

一、大印へや 白成 三箇

皆掛メ貳拾八メ五百目

内 貳メ三百目 入目

又 貳メ六百目 壹引

メ 四貫九百目

残正味貳拾三メ六百目

此斤九拾四斤四歩

壹匁四分八厘かへ

代百三拾九匁七分壹厘

内

四分五厘 蔵入仲仕ちん

九分 蔵しき

貳匁七分八厘 口せん

右之通差引仕、残金不残相渡、此表無出入相濟申候、若
算用違も有之候ハ、追而差引可仕候、為後日依而如件

伊勢屋源助 ㊦

寛政元年酉霜月廿九日

今田弥兵衛殿

御支配

藤屋金助殿

ノ四匁壹分四厘

残銀百三拾五匁五分八厘

右之銀子重而差引江相加、此表無出入相濟申候、仕切状

仍而如件

寛政元年酉十一月卅日

伊勢屋治四郎 ㊦

今田弥兵衛殿

現金廿五兩替

一、金壹兩三步貳朱 同黒花 五袋

銀四匁三分三厘 ノ

代

ノ 金六拾三兩三步二朱

銀五匁壹分九厘 両かへ五十五匁五分

右之通御相對を以買請紅花代金不殘相渡、此表無出入相

濟申候、万一算用違又ハ拔袋等有之候ハ、重而御相互

二御差引可仕候、為後日仍而如件

四〇 紅花仕切

仕切

現金六拾三兩替

大ハ極紅印紅花 十八袋入貳丸

一、金六拾貳兩と 同上店印 同廿七袋

銀八分六厘 ノ片馬參拾壹袋

代

寛政二年

伊勢屋

戌二月五日

理右工門 ㊦

今田弥兵衛殿

御代藤屋金助殿